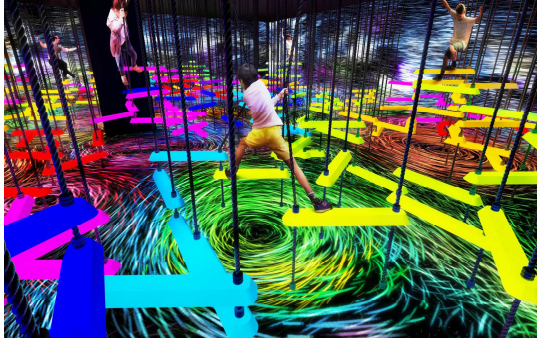


森ビル デジタルアート ミュージアム：エプソン チームラボボーダレス
身体で世界を捉え考える「運動の森」エリアがリニューアルオープン
自分の描いた絵がグッズになる「お絵かきファクトリー」も新設



エアリアルクライミング



光の彫刻 - Chromatic Light Wall

森ビル株式会社とアート集団・チームラボが共同で運営する「森ビル デジタルアート ミュージアム：エプソン チームラボボーダレス」（以下、当館）は、夏休みに先駆け、**7月15日(木)**に「**運動の森**」エリアをリニューアルオープンします。また、**自分が描いた絵をグッズにできる「お絵かきファクトリー」も新設され、体験をお土産として持ち帰ることができます。**10,000 m²の複雑で立体的な「地図のないミュージアム」での体験が増すことで、当館のコンセプトである“ボーダレス”な世界を、より一層ご堪能いただけます。

“身体で世界を捉え、世界を立体的に考える”がコンセプトである「**運動の森**」エリアには、**新たに3作品が登場**します。「**インビジブルな世界のバランス飛石**」は、飛石を踏むことで美しい音や色彩が空間に広がります。「**弾む水の天才ケンケンパ**」は、水に浮かんだ記号の上を跳ぶことで魚や蝶、鳥が生まれます。また、「**エアリアルクライミング**」は、空中に浮かぶ棒を落ちないように渡っていくことで、作品空間が変化していきます。そして、この度**新設される「お絵かきファクトリー」**では、「**世界とつながったお絵かき水族館**」や「**グラフィティネイチャー**」の作品内で描かれた生き物たちを、その場でグッズにして持ち帰ることができます。

本リニューアルにあわせて、「**Borderless World**」エリアにも**新たな作品が登場**します。光の線の集合によって生み出される「**光の彫刻**」空間には、「**Chromatic Light Wall**」や「**Nucleus of Life**」など、**新たに5つの作品**が加わり、光の立体物が身体を包み込むような、没入感のある体験が得られます。「**反転無分別、境界を越えて描かれる**」は、ディスプレイの中に存在する「**書**」の作品が、ディスプレイの枠から飛び出し、「**Borderless World**」エリア全体に連続した一筆を描きます。描かれる線は、竹などのイメージを表現しながら、他の作品にも影響を与えます。その他、「**花と共に生きる動物たち II**」や、「**Walk, Walk, Walk: 探し、遠ざかり、また 出会う**」などの作品も、空間がより巨大に広がります。

【本件に関するお問い合わせ先】

MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless 広報事務局
 (共同ピーアール株式会社内) 担当：小松、田ヶ谷、兪（ゆう）、永福
 Tel: 090-7907-2289 Email: borderless-pr@kyodo.pr.co.jp

■「運動の森」エリアに新しく登場する作品

インビジブルな世界のバランス飛石

普段見ることのできない微生物の世界を、「バランス飛石」に飛び乗りながら渡っていく作品です。様々な形をした「バランス飛石」を踏むと、音色が響き、石色が変わります。その変化は、微生物を通して空間全体にも影響していきます。また、飛石の上で立ち止まっていると、複雑な揺れが生じるため、飛石から落ちないようにバランスを取る必要があります。



インビジブルな世界のバランス飛石

弾む水の天才ケンケンパ

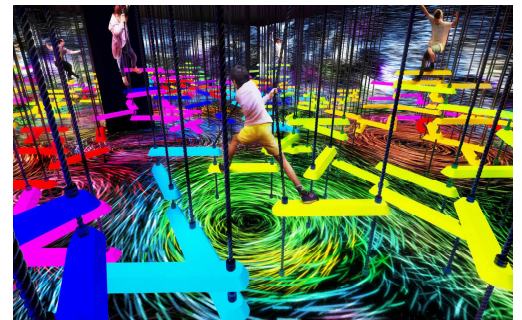
片足飛びと着地を繰り返すケンケンパで、水に浮かんだ記号の上を進む作品です。○△□の記号を上手に踏むと音が鳴り、時には、魚や蝶、鳥が生まれます。同じ形や色など、関連性のある記号に連続して飛び乗ると、空間はさらに美しく色づきます。例えば、□の記号が連続すると、鳥が出現し、赤色が連続すると、赤色のエフェクトが溢れます。子どもたちは、身体を動かしながら、遊ぶことができます。



弾む水の天才ケンケンパ

エアリアルクライミング

連結した棒が立体的に空中に浮かぶ「エアリアルクライミング」は、人々の動きを受けて複雑に揺れる棒から落ちないように、空中を立体的に渡っていく作品です。



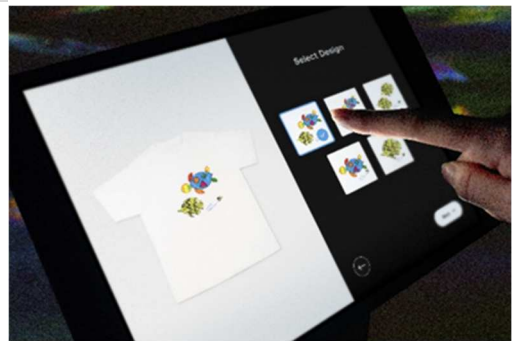
エアリアルクライミング

■自分が描いた絵をグッズにできる、当館初のグッズエリア「お絵かきファクトリー」

お絵かきファクトリー

自分が描いた絵をグッズにし、お土産として持ち帰ることができます。「グラフィティネイチャー」や「世界とつながったお絵かき水族館」の作品内で描かれた絵は、作品空間で動くだけでなく、「お絵かきファクトリー」で缶バッジ、タオル、Tシャツ等のグッズにすることができます。

「お絵かきファクトリー」内にある注文端末にて、印刷する絵と、グッズの種類・個数・デザインを選ぶだけで、その場で制作が完了します。世界に二つと無い自分だけのオリジナルグッズを制作できます。 ※グッズは有料です。



お絵かきファクトリー

■「Borderless World」エリアに新しく登場する作品

反転無分別、境界を越えて描かれる – One Stroke, Cold Light

ディスプレイで表現される作品「反転無分別」の空書[※]の一筆が、ディスプレイの枠を超越して、作品空間全体に連続して描かれる作品です。空書の一筆は、他の作品にも影響を与えます。例えば、花々が移り変わっていく作品「花と人の森、埋もれ失いそして生まれる」に空書が入ると、空書は花々などを散らしていきます。

※「空書」とは、チームラボが設立以来書き続けている、空間に描かれる書を指します。書の墨跡が持つ、深さや速さ、力の強さを、新たな解釈で空間に立体的に再構築し、チームラボの「超主観空間」の論理構造によって2次元化しています。

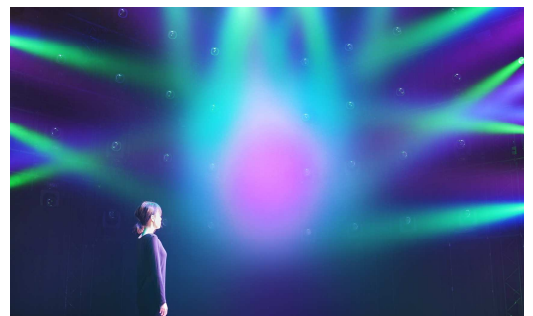


反転無分別、境界を越えて描かれる
- One Stroke, Cold Light

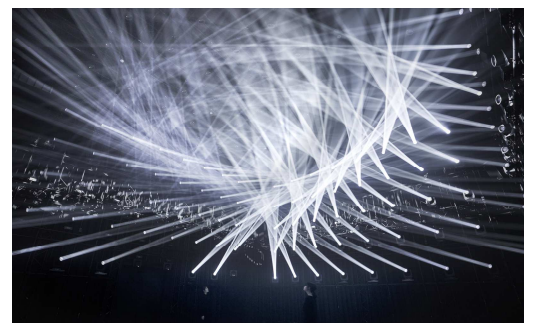
光の彫刻

「光の彫刻」空間では、光の線の集合により、空間が再構成される様や、立体物が構築される様子を体感できます。光の線で造られた空間や立体物は、身体を包み込むような、没入感がある体験を与えます。

本空間には、新たに、「Chromatic Light Wall」、「Nucleus of Life」、「Revolving Tunnel」、「Aurora Lights II」、「Polyhedron」の5つの作品が加わります。



Chromatic Light Wall



Nucleus of Life

■空間がより巨大に広がる作品

Walk, Walk, Walk: 探し、遠ざかり、また 出会う

この作品は、作品「秩序がなくともピースは成り立つ」の肖像群が、「無限の透明」の空間から出ることから始まります。肖像群は、他の作品空間の境界を越境し、時には他の作品に影響を与えながら、歩き続けます。

作品は、記録された映像を再生するのではなく、コンピュータプログラムによってリアルタイムに描き続けられます。情景が複製されることなく、変容し続けるため、今この瞬間の姿は、二度と見ることはできません。

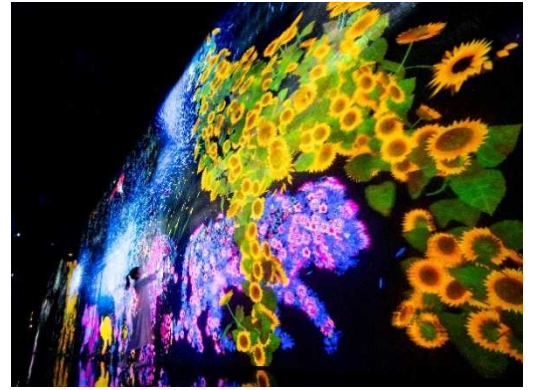


Walk, Walk, Walk: 探し、遠ざかり、また 出会う

花と共に生きる動物たち II

作品「花と人の森」から生まれ、「花と人の森」の花々を纏った動物たちの作品です。花々は、季節ごとの花々がゆっくり移ろいながら、誕生と死滅を繰り返し続け、動物を形作り続けます。人々が花々に触れると、花々は散っていきます。人々が触り続け、動物の花々が散りすぎると、その動物は死んで消えていきます。

作品はコンピュータプログラムによってリアルタイムで描かれ続けています。あらかじめ記録された映像を再生しているわけではなく、全体として以前の状態は複製されず、人々のふるまいの影響を受けながら、変容し続けます。今この瞬間の絵は二度と見るできません。



花と共に生きる動物たち II

The Way of the Sea, Flying Beyond Borders - Colors of Life

この作品は、作品「The Way of the Sea」の魚の群れが、「地形の記憶」の空間に入ることから始まります。魚の群れは、自由無礙に泳ぎます。人々が魚に触れると、魚は人々が持つ色に染まります。

本作品は、チームラボの「鳥道」シリーズです。禅に「鳥道」という言葉があります。鳥の行く道は、人間の「道路」のように固定された道ではなく、自由無礙なこと、そして跡を残さないことを意味します。



The Way of the Sea, Flying Beyond Borders
- Colors of Life

■ 世界で開催されている展覧会と繋がる作品

世界とつながったお絵かき水族館

この水族館は、みんなが描いた魚たちが泳ぐ水族館です。紙に自由に魚の絵を描くと、描いた絵に命が吹き込まれ、目の前の巨大な水族館で、みんなが描いた魚と共に泳ぎだします。泳いでいる魚は、触れると、いっせいに逃げだします。エサ袋に触ることで、魚にエサをあげることもできます。

なかでも、マグロは、この作品空間を超えて、上海にあるチームラボボーダレス内の「スケッチオーシャン」や、他の会場にある「お絵かき水族館」にまで泳いでいきます。別の会場で描かれたマグロが、リアルタイムで目の前の海中を泳いで来るともあります。現在は上海にあるチームラボボーダレスと繋がっていますが、今後は、世界のさまざまな地域で開催されるチームラボの会場間を、マグロは行き来する予定です。



世界とつながったお絵かき水族館

空間を越えて共有する巨石

巨石は、作品空間から飛び出し、浮遊し、壁の中にめり込んでいきます。ミュージアムという物理空間さえも超えて、世界のさまざまな地域で開催されている展示会場に、めり込んだ分だけ姿を現します。壁にめり込んでいる時、人々が巨石に触れると、巨石は青く光ります。その光は、他の場所に突き出た巨石まで流れていきます。他の場所から人々が巨石に触れると、巨石は赤く光り、その光は逆流して流れ込んでいきます。



空間を越えて共有する巨石

<参考>

当館の新型コロナウイルス対策について

当館では、日時指定電子チケットの導入（事前予約制）、お客様にお願いする感染症対策、当館が実施する感染症対策の3つの対策軸を掲げ、館内の環境を整備しています。2020年8月6日～9日の4日間では、来館者645名を対象に、「新型コロナウイルス感染症対策に関する意識調査」を実施。88%の来場者が当館の感染症対策を高く評価し、安心して過ごせたと回答しています。ご来館いただいた皆様に安心して楽しんでいただけるように、今後も最高レベルの環境整備に努めてまいります。

具体的な対策は、公式ウェブサイトの特設ページ（<https://covid-19.teamlab.art/borderlesstokyo/jp/>）をご参照ください。

美術館概要

- 名称： 森ビル デジタルアート ミュージアム：エプソン チームラボボーダレス
(MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless)
- 場所： 東京都江東区青海 1-3-8 お台場パレットタウン
- 料金： 大人（高校生以上） 3,200 円
障がい者割引 1,600 円
子ども（4歳～中学生） 1,000 円
※障がい者割引の対象は、障がい者手帳をお持ちの方ご本人様と同伴者1名まで。
- 開館時間： 6月 平日 11:00-17:00
土日祝(19日,20日) 10:00-17:00
土日祝(26日,27日) 10:00-18:00
7月 平日 (1～20日) 10:00-17:00
土日祝(3～11日) 9:00-19:00
土日祝(17～18日),21日以降 全日 9:00-20:00
※開館時間はシーズンによって異なるため、ウェブサイトをご参照ください
※新型コロナウイルス対策により、入館チケットは日時指定予約制となります
- 休館日： 7月：12日～14日
- ウェブサイト：<http://borderless.teamlab.art/jp>
- ダイジェスト映像：<https://youtu.be/VowWhpZzH24>

【本件に関するお問い合わせ先】

MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless 広報事務局
(共同ピーアール株式会社内) 担当：小松、田ヶ谷、兪（ゆう）、永福
Tel: 090-7907-2289 Email: borderless-pr@kyodo.pr.co.jp